研究所だより

磐周教育研究所令和元年11月22日(金)

No. 6

11月20日 ソフィア発見講座【報告】

「こころの健康」に気づける学校・教師に

私たち磐周の大先輩である岡本 康哉先生をお招きして、約70名が 熱心に聴講しました。

自らを、学者ではなく現場主義を 貫く「実務家教員」であるという強 い信念と使命感から出てくるお話 は、まさに発見の連続でした。



レジリエントな学校

- 折れないでしなやかに頑張ろうと思えるのは、甘え合える関係があるから。
- 教師(大人)が甘えるに足る存在になっているか?自問したい。
- •「子どもの心の最前線にいる教師」…大先輩、西澤卓雄先生の言葉を忘れてはいけない!「子どもの心に素手で触れるのが教師の仕事。だから、汚い手でいてはダメだ」と教えていただいた。

ゼロリスク要求

- •「絶対に避けたい」と思うものの第3位が「いじめ」であり、医療事故や原発事故に 次ぐレベルで、「あってはならない」と考えられている。非常に高い要求がある。
- •「安全·安心な学校」と言われるが、安全と安心の間には「**信頼**」が不可欠。 安全とはリスクを最小限に抑えた客観的状態であり、安心とはその個人が リスクが小さいと感じる主観的·心理的な状態である。ミスをしたら誠実に 確実に対応することが信頼を生み、そのことが安心につながる。

クラスワイドな支援

③の子どもにエネルギーを注いでばかりいると、②の子どもも問題を起こし始める。②の静かに困っている子たちをターゲットにしながらクラス全体をよくしようとしていけば、子どもたちは互いの事情を理解し出す。

